

## 令和6年度専門領域推進部 内部障がい領域 研修会及び症例検討会活動報告書

日時：令和6年10月14日（月・祝）9:00～12:30 受付8時45分～

会場：公立置賜総合病院 研修棟

形式：対面での研修会（150分の講義）と症例検討会（30分）の組み合わせ

参加費：1,000円

参加者：16名

内容：第一部 中止基準と理学療法に必要な全身状態の理解

講師 日本海総合病院 本間 豪 氏 90分

第二部 合併症としての代謝性疾患（主に糖尿病）の理解及び症例検討会

講師 公立置賜総合病院 荒井 珠美 氏 60分

症例検討 消化器疾患によりシックデイとなった高齢2型糖尿病患者

発表者 山形県立中央病院 原田 翔平 氏 30分

内容の詳細：

第一部では本間氏より身体活動時の理解に必要な呼吸・循環・代謝の要素を一般的な離床の中止基準とともに解説いただいた。生理学や臓器連携の基礎的な部分からていねいに説明いただき、中止基準に当てはまる患者の背景とその要因について、より理解を深める内容であった。

第二部では荒井氏より糖尿病について、診断・検査項目から、疾患の特徴、合併症やリスク管理、薬物療法等について幅広く解説していただいた。臨床での経験談も交えて説明いただき、合併症として糖尿病を持つ患者に対しても明日の臨床ですぐに活かされる内容であった。

その後原田氏により糖尿病を合併した症例を提示いただいた。血液データや投薬内容の解釈等、急性期における対応を中心に解説を含めて発表いただいた。ディスカッションの中では、退院後の生活に向けての関わりについても、参加者を交えて検討された。



文責 黒坂浩平